

まつしま

議会だより

第135号

平成30年8月1日発行
宮城県松島町議会



アートの力で地域に貢献（松島中学校美術部の皆さん）

- ◇ 議案審議……………P4
- ◇ 平成30年度各種会計補正予算……………P6
- ◇ 人事案件等……………P8
- ◇ 8人の議員が熱弁(一般質問)……………P10
- ◇ 平成29年度政務活動費収支報告……………P19
- ◇ 町民の声……………P22

平成30年
第2回 定例会

[6月8日～6月13日]

平成30年6月 定例会提出議案



報告1 平成29年度松島町一般会計繰越明許費繰越計算書について

復興支援定住促進事業他18事業を繰り越した。

P4に掲載

報告2 平成29年度松島町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

松島地区他下水道事業他2事業を繰り越した。

P4に掲載

報告3 平成29年度松島町一般会計事故繰越し繰越計算書について

漁港海岸・海岸保全施設築造事業他4事業を繰り越した。

P4に掲載

報告4 平成29年度松島町下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書について

公共下水道施設災害復旧事業他1事業を繰り越した。

報告5 平成29年度松島町水道事業会計予算繰越計算書について

根廻磯崎線道路改良工事に伴う配水管移設工事を繰り越した。

議案32 専決処分の承認を求めることについて 松島町町税条例の一部改正

P8に掲載

議案33 専決処分の承認を求めることについて 松島町都市計画税条例の一部改正

議案34 専決処分の承認を求めることについて 松島町国民健康保険税条例の一部改正

議案35 松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

基準の一部を改正する省令に伴うもの

P4に掲載

議案36 平成30年度松島町一般会計補正予算（第1号）

4月の職員人事に伴う人件費等について補正するもの（44,616千円増）

P6・7に掲載

議案37 平成30年度松島町介護保険特別会計補正予算（第1号）

4月の職員人事に伴う人件費等について補正するもの（3,127千円減）

議案38 平成30年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

4月の職員人事に伴う人件費等について補正するもの（4,532千円減）

議案39 平成30年度松島町水道事業会計補正予算（第1号）

4月の職員人事に伴う人件費等について補正するもの（2,117千円増）

P7に掲載

議案40 工事委託に関する協定の締結について
 協定名 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切拡幅に伴う水路改修工事委託に関する協定
 協定金額 105,642,880円
 協定相手 東日本旅客鉄道(株)仙台支社

P5に掲載

議案41 工事請負契約の締結について
 工事名 町道根廻・磯崎線高城こ線橋桁製作工事
 契約金額 51,840,000円
 契約相手 日本高圧コンクリート(株) P C事業部東北支社

P5に掲載

議案42 物品売買契約の締結について
 事業名 防災行政無線戸別受信機等備品購入
 契約金額 7,236,000円
 契約相手 扶桑電通(株)東北支店

P5に掲載

議案43 松島町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
 内海俊行氏を任命

P8に掲載

議案44 松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
 安部新也氏を選任

P8に掲載

議案45 松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
 尾形正行氏を選任

P8に掲載

諮問1 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて
 赤石雅英氏を選任

P8に掲載

諮問2 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて
 泉田成美氏を選任

P8に掲載

諮問3 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて
 武田三弘氏を選任

P8に掲載

諮問4 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて
 梶塚善弘氏を選任

P8に掲載

諮問5 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて
 小川真儀氏を選任

P8に掲載

平成30年第2回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）
 ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 ※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	採決結果	杉原崇	櫻井靖	緑山市朗	赤間幸夫	高橋利典	片山正弘	澁谷秀夫	今野章	太齋雅一	後藤良郎	菅野良雄	高橋幸彦	色川晴夫	阿部幸夫	賛成	反対
議案第34号	6月8日	承認	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第39号	6月11日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	12	1

【賛成全員】

議案番号	議決月日
議案第32号	6月8日
議案第33号	6月8日
議案第35号	6月11日
議案第36号	6月11日
議案第37号	6月11日
議案第38号	6月11日
議案第40号	6月11日

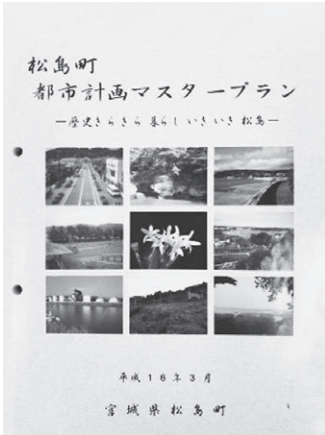
議案番号	議決月日
議案第41号	6月11日
議案第42号	6月11日
議案第43号	6月8日
議案第44号	6月8日
議案第45号	6月8日
諮問第1号	6月8日
諮問第2号	6月8日

議案番号	議決月日
諮問第3号	6月8日
諮問第4号	6月8日
諮問第5号	6月8日

災害に備えて 防災行政無線の 戸別受信機100台を購入

議案 審議

議案審議



平成30年第2回定例会が6月8日から6月13日まで6日間の会期で開催されました。提案された内容は、報告5件、専決の承認3件、議案14件（条例の一部改正、各種会計補正予算、工

事委託に関する協定、工事請負契約の締結、任命同意、選任同意）、諮問5件でした。審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

報告 繰越事業30件(内事故繰越7件)

一般会計繰越明許費
繰越計算書

下水道事業特別会計繰
越明許費繰越計算書

一般会計事故繰越し
繰越計算書

松島町放課後児童健
全育成事業の設備及
び運営に関する基準
を定める条例の一部
改正

質疑

色川晴夫議員 新たに都市計画マスタープランに盛り込まれた内容とは。
企画調整課長 仙塩広域都市計画区域の見直しを行っており、新たに市街化調整区域の編入や工業用地の一般保留という形での区域の盛り込み、また地区計画等などである。

質疑

高橋幸彦議員 長田排水区雨水管渠築造事業とポンプ場の建設を行っているが、稼働はいつになるのか。
水道事業所長 平成31年3月の完成を見込み、引き受けを経て稼働になる。

質疑

色川晴夫議員 安易な事故繰しは直していただきたいと考えるがどうか。
建設課長 早目に事前協議を進め事故繰越や繰越しが生じないよう努力していく。

質疑

赤間幸夫議員 放課後児童支援員の従事者状況はどうなっているのか。
町民福祉課長 児童館に4名、第二小学校に2名、品井沼の改善センターに2名、フリーが2名、合計10名で、すべて女性である。

色川晴夫議員 町長が認める場合の基準とは。
町民福祉課長 具体的な基準は示されていないが、5年以上の実務経験が認められるか、またその勤務姿勢等が適正であったかということが判断基準になると考える。
賛成全員・可決

菅野良雄議員 入札不調の原因は何か。
水道事業所長 公告をしたが業者が集まらなかったことである。

建設課長 避難誘導灯はバッテリー内蔵の蓄電式誘導灯であるが、蓄電池の許可及び単独柱の発注が間に合わなかったためである。

今野章議員 支援員に対する特別研修はないのか。
町民福祉課長 必要はないと考えている。



工事委託に関する協定の締結

質疑

櫻井靖議員 工事期間の短縮はできないのか。

建設課長 平成31年度9月から2月にかけて工事を行う。列車の運行時間との兼ね合いもあるが、JRと協議はしていきたい。



第2磯崎踏切

櫻井靖議員 踏切幅をもう少し広げられないのか。

建設課長 車道を5mから6mに、そして3・3mの歩道を新設するので十分である。

杉原崇議員 磯崎から高城方面への下り坂を走ってくる自転車への注意喚起の方策を。

建設課長 踏切工事とは別に町で注意喚起の看板の取りつけを考えていきたい。

賛成全員・可決

議案審議

物品売買契約の締結

質疑

後藤良郎議員 難聴区域住民用100台だが、具体的な貸与は。

危機管理監 本年度は幡谷、上竹谷、北小、下竹谷の難聴区域のエリアを予定。高齢者の世帯や避難行動の要支援者の方々に優先的に貸与を進めていきたい。

櫻井靖議員 納入期限が1月31日となっているが、早期の納入はできないのか。

危機管理監 秋口までに間に合うように進めていきたい。

菅野良雄議員 入札参加1社だけだが、随意契約なのか。

町長 条件つき一般競争入札であったが、1社のみであった。

今野章議員 個別受信機を購入したい方への助成の考えは。

町長 難聴区域外でも聞こえない方もいるので、今後検討していきたい。

色川晴夫議員 防災無線基地の増設の考えは。

副町長 既存の防災無線を再点検しながら、今後検討していきたい。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結

質疑

杉原崇議員 美映の丘にある交差点には一時停止の看板はあるが、分かりにくい状態である。さらなる安全対策が必要ではないのか。

建設課長 横断歩道の設置はできないが、「止まれ」の看板等、更なる安全対策を考えていく。

賛成全員・可決



高城こ線橋工事



美映の丘交差点



戸別受信機

1億5千万円

平成30年度

各種会計補正予算

一般会計補正予算

(第1号)

質疑

●富山避難路整備事業
(富山観音から町道三浦線までの610m)
1億5千万円

赤間幸夫議員 富山避難

路整備事業の財源は、漁業集落復興効果促進事業とのことであるが、効果促進をどのように描いているのか。

建設課長 手樽の漁港周辺の津波対策としてのかさ上げ事業等が漁業集落機能強化を図る基幹事業としているので、それに対する効果促進を上げるための事業としての位置付けをし、水産庁と協議の上、復興交付金事業となった。

色川晴夫議員 避難路の誘導灯は。

建設課長 誘導灯はソーラーで7基、そして、階段部にはフットライトを16基設置する予定である。

色川晴夫議員 避難路入口の駐車場はどのように整備するのか。また、階段工の内容は。

建設課長 駐車場は、大型車2台、普通車14台駐車可能なものとする。階段は、切り土・盛り土を極力抑え、現況勾配をほぼ維持し、急勾配のところは階段、勾配が緩いところはスロープにする。路幅は、一番狭いところで40cm、広いところで、75cmである。



●瑞巖寺落慶法要前夜祭におけるブルーインパルスジュニアに係る経費
32万5千円

色川晴夫議員 瑞巖寺落慶記念で武者行列が行われる。せつかくの機会なので子どもたちに見せてあげたいが、教育委員会はどう考えているか。また、検討するに当たり、

学校内だけでなく瑞巖寺等と話し合いを持ったのか。

教育長

教育効果として武者行列を見る価値があると判断したが、大勢の人が集まることを考えると安全面で厳しいと考えている。また、瑞巖寺等と話し合いをしていないので、協力を得ることが出来れば、再度検討したい。



富山観音参道



ブルーインパルスジュニア

杉原 崇議員 震災から7年経ち、災害派遣職員8名の方がいるが、今後はどうなるのか。また、災害支援協定を結んでい自治体は何ヶ所か。

●仙石線第2磯崎踏切拡幅に伴う水路改修工事委託料
△9千630万円

片山正弘議員 仙石線第2踏切拡幅工事に伴う水路改修工事の現状と今後の方向は。

建設課長 磯崎地区の県道奥松島・松島公園線の水路は30年度中に完成予定。また、高城町駅前については、今年度中に用地契約をし、平成32年度

末に完了予定である。用地交渉では、大枠でご理解いただいている。移転を要する方は3件ある。

●コミュニティ助成事業（松島五大堂太鼓の会へ太鼓等の備品購入費の助成）
250万円

後藤良郎議員 五大堂太鼓の会の事業概要と活動内容は。

企画調整課長 会員の構成は会長1名、副会長2名を含む、役員10名と、一般会員22名の合計32名。事業の主な活動内容は年間毎週金曜日、文化観光交流館で練習している。イベント等については、平成29年度は約20回演奏している。

赤間幸夫議員 コミュニティ助成で備品等が備えられ、様々な活動に利用されていると考えるが、その効果検証をしているのか。

企画調整課長 団体で実績報告を出していただき内容等を確認している。

菅野良雄議員 この助成金を他の太鼓の団体に分けて助成することはできないのか。

企画調整課長 コミュニティ助成は1団体1件となっている。

今野 章議員 使い勝手のいい助成金だと思うが、31年度に向けて成果が上がる事業が採択されるよう希望するがどうか。

企画調整課長 31年度の交付に向け、コミュニティのほうに少しでも貢献できるように事業に変えていきたいと思っている。
賛成全員・可決



瑞巖寺落慶法要武者行列

質疑

水道事業会計補正予算
(第1号)

菅野良雄議員 資本的収支不足額の補てん財源のうち

に過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2531万4千円が入っているが、平成30年度当初予算にはこの財源項目は無かったはずだ。平成29年度の消費税について、監査委員の審査を受けず、議会の決算認定も経ないで、平成30年度予算に計上するのは正しくないのでは。利用可能なのか。

水道事業所長 当初予算提出時には平成29年度分の消費税額は確定していなかったが、3月31日締めでそれが確定した。公営企業法に関する総務省通達の中の公営企業会計における過年度留保資金の取り崩しの手順に則り今回計上した。

賛成多数・可決

専決処分

地方自治法で定めており、緊急時で議会を招集する時間がない場合等、予算や条例などを首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めること。

松島町町税条例等の一部改正

主な内容

地方税法等の一部を改正する法律（平成30年法律第3号）が、平成30年3月31日に公布されたことにより、法人町民税においては外国子会社合算税制の見直しに伴う税額控除及び納期限の延長に係る延滞金の計算期間の特例の取り扱いについて、また、固定資産税においては、現行の土地負担調整措置について平成30年度から平成32年度まで3年間延長するもの。

松島町国民健康保険条例の一部改正

主な内容

地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことにより、基礎課税額に係る限度額を58万円に改めたものであり、さらに5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において、被保険者の数に乗ずるべき金額を5割軽減は27万5000円に、2割軽減は50万円に改めるもの。

討論

反対

今野章議員

国保税の限度額は毎年のように引き上げられてきた経緯がある。そのため10年前の平成20年度の限度額は68万円であったが、今回は93万円と10年前に比較して25万円の限度額が上昇している。限度額の引き上げは国保税の引き上げに通ずるものであり、限度額の引き上げには反対である。

質疑

今野章議員

国保税の基礎課税額に係る限度額をなぜ上げるのか。

町民福祉課長

国保税に係る国民負担に関する公平性の確保からであり、最高限度額を抑えることは中・低所得者層に負担を強いることになるので、最高限度額を法に定める額に規定するものがある。

賛成

澁谷秀夫議員

地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことにより行うものであり、町は慎重に検討され、専決処分を行ったものと考え承認すべきものとする。

賛成多数・可決

質疑

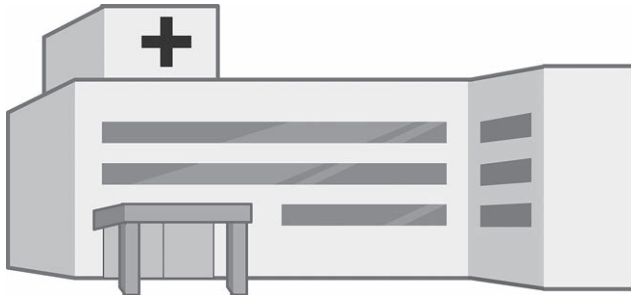
今野章議員

本町における固定資産税の評価基準となるポイントはどこぐらいあるのか。

財務課長

宅地111カ所、市街化農地2カ所、田1カ所、畑1カ所、ゴルフ場用地1カ所、合計114カ所である。

賛成全員・可決



人事

松島町教育委員会教育長：……同意

○内海 俊行氏 61歳
(松島町高城)

松島町固定資産評価審査委員会委員：同意

○安部 新也氏 62歳
(松島町手樽)

○尾形 正行氏 67歳
(松島町高城)

松島町入札監視委員会委員：同意

○赤石 雅英氏 60歳
(塩釜市)

○泉田 成美氏 53歳
(仙台市青葉区)

○武田 三弘氏 50歳
(利府町)

○梶塚 義弘氏 63歳
(松島町磯崎)

○小川 真儀氏 43歳
(石巻市)

繰越事業30件

うち事故繰越7件

事業名	翌年度繰越額	完了(見込)
一般会計繰越明許費繰越計算書		
議会史編纂・発行事業	188万9千円	平成30年10月下旬
復興支援定住促進事業	350万円	平成30年6月下旬
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	2億9911万6千円	平成31年3月下旬
国道45号照明灯移設事業	821万1千円	平成30年5月完了
橋梁補修事業	4348万3千円	平成31年3月下旬
道路附属物点検事業	1542万1千円	平成30年9月下旬
松島地区避難路整備事業	2920万円	平成31年3月下旬
高城・磯崎地区避難路整備事業	2287万6千円	平成31年3月下旬
町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業	2億8503万2千円	平成31年3月下旬
町道手樽・富山駅線道路整備事業	9599万7千円	平成31年3月下旬
町道高城・松島線外3路線道路整備事業	1億387万7千円	平成31年3月下旬
都市計画マスタープラン策定事業	352万4千円	平成30年9月下旬
根廻磯崎線道路整備事業(根廻地区)	2億8396万2千円	平成31年3月下旬
根廻磯崎線道路整備事業(磯崎地区)	3176万9千円	平成31年3月下旬
宅地かさ上げ等事業費補助金	100万円	平成30年8月下旬
耐震対策緊急促進事業	1億412万円	平成30年8月下旬
防災マップ作成事業	950万円	平成30年7月下旬
中学校吹奏楽器購入事業	242万円	平成30年5月完了
公共土木施設災害復旧事業	1億6650万円	平成31年1月下旬
下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書		
松島浄化センター長寿命化改築事業	3400万円	平成30年12月下旬
松島地区外下水道事業	2億7400万円	平成31年3月下旬
長田排水区雨水管渠築造事業	4040万円	平成30年10月下旬
水道事業会計予算繰越計算書		
根廻磯崎線道路改良工事に伴う配水管移設工事	980万円	平成30年9月下旬
一般会計事故繰越し繰越計算書		
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	8222万円	平成30年9月下旬
町道手樽・富山駅線道路整備事業	1330万円	平成30年9月下旬
根廻磯崎線道路整備事業(根廻側)	1億7432万円	平成30年5月完了
公共土木施設災害復旧事業	8340万円	平成31年1月下旬
漁港施設災害復旧事業	1566万円	平成30年9月下旬
下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書		
松島地区外下水道事業	4億6800万円	平成30年12月下旬
公共下水道施設災害復旧事業	1億4000万円	平成31年3月下旬

事故繰越し：年度当初等においては、全然繰越しを予想していなかったが、たまたま避けることのできない事故(災害)のために年度内に経費の使用が終わらない場合。

町政Q & A

一般質問 ここが聞きたい!

8人の議員が 13件について質問

杉原 崇 議員 (11ページ)	◆ 松島における体験活動は
菅野良雄 議員 (12ページ)	◆ 地区計画の現況は ◆ 電子母子手帳で子育て支援を
櫻井 靖 議員 (13ページ)	◆ 敬老祝金等支援事業は、継続していけるのか ◆ 子どもたちの交通安全に対する意識向上を
後藤良郎 議員 (14ページ)	◆ 喉頭摘出者に支援を
高橋幸彦 議員 (15ページ)	◆ 松島海岸駅の改修内容は
今野 章 議員 (16ページ)	◆ 子どもの貧困対策について ◆ 高齢化率37%「若者の定住」対策は
赤間幸夫 議員 (17ページ)	◆ 災害への備えは万全か ◆ 防犯対策の充実を
色川晴夫 議員 (18ページ)	◆ 松島町バリアフリー基本構想と、松島海岸駅整備事業について ◆ 再度問う 地域おこし協力隊の導入を検討したか

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



すぎはら 杉原 たかし 議員

問 松島における体験活動は

答 各教科等の特質に応じた体験活動や特別活動など幅広く実施している

問 自分の身体を通して実際に経験する活動により子供達の「生きる力」を育むための活動と言われている体験活動。町内における内容と成果は。

教育次長 松島まるごと学と名づけ、瑞巖寺見学学習、富山での座禅体験、森林学習としてチェンソー体験など、松島の歴史文化、地域を生かした体験活動を行なうことにより、松島の歴史文化に対する児童の興味関心を高めるきっかけとなった。また、生活科として、町探検を行い、地域の方々と触れ合いながら地域を知ったり松島の自然を理解したりすることにつながっている。さらに、国立花山青少年自然の家で宿泊体験を行っており、自然体験を通じた心の成長が見られる。



座禅体験

そして、まつしま防災学の体験として、自衛隊や消防署員を招いて心肺蘇生法、AEDの使い方などの体験を学んだりして災害時の心構えを学んだり、緊急時の対応について学んだりしている。

問 学校、家庭、地域の連携を図る上で、職場体験を行なう際に、町内の事業所を増やせないのか。

教育次長 より地域と密着し、学校経営に地域の方にも参画していただくためにも、もっと幅広い事業所に協力いただいで、職場体験を通して、子供たちが地域に出ている事業主と触れ合う機会を増やしていきたい。

問 松島にある店舗に協力を得ての「ものづくり体験」はできないのか。

教育次長 商工会青年部さんに声かけしており、若い方々に協力いただけるようにと考えている。沢山の体験を通し、職業を選択する一助になればいい。

問 松島の基幹産業でもある一次産業の体験活動については。

教育次長 農家の方々にご協力をいただき、畑を借りてサツマイモの苗植えや芋掘り、トマト施設の見学などを行っている。カキの体験活動や稲つくりなども行いたいですが、総合的な学習の時間に行えれば。



松島かき体験学習(震災前、鶴岡の小学生を対象に開催)



松島の食材を使用した学校給食

問 松島産の食材を使用した給食の現状は。食育の観点からも、松島産の食材使用(力キ等)を増やせないのか。

教育課長 旬の地場産物を優先的に使用し、献立を工夫するほか、地域の食材に詳しい食生活改善推進員の協力をいただきながら予定を立てていきたい。
町長 カキの給食の使用は予算面や衛生面などの課題があるが、今後検討していく。

問 地区計画の現況は

答 地元説明会は10月から12月



菅野良雄 議員

一般質問

問 県都市計画課に出向き地区計画について学んできた。私の質問に対し、地区整備計画についてまだ課題が残っていると答えているが、県の担当者との話では、そんなに厳しい条件を求められるようなことはないように受け止めている。市街化調整区域の活力を維持するためには是非とも活用しなければならぬ地区計画であるが、現況を伺う。

企画課長 品井沼駅を中心に新たに地区計画を位置づけるものであり、県都市計画課と平成28年度から話を進めている。今年3月の打ち合わせでは、計画の位置づけや区域の設定等の指導を受けている。5月には計画の概略素案を作成している。町の考えとしては、新たな人口を誘導する計画で

はなく、現在ある地域を維持する考え方を説明したところ、県の合意を得られたので、今後、計画区域の調査等を継続して具体化を図っていきたい。

問 地域住民の協力がないと実現できない計画である。住民説明会を開く必要があると思うが。

企画課長 今年度内に県の同意を得たいと思っている。地域説明会は10月から12月の間だと考えている。

問 電子母子手帳で子育て支援を 使い勝手や安全性を確認

問 紙ベースの母子手帳をスマホやタブレット・PC等にアプリをダウンロードして利用する電子母子手帳を導入する自治体が増えている。メリットは、手帳を持ち歩かなくてもいいこと、災害時やスマホを無くした時でもデータで活用で

きること、町の子育て情報を受け取れること、写真や動画を保存できること。そして妊産婦の保健指導がしやすいこと、予防接種の管理ができることなどである。子育て支援の一助として導入する考えはないか。また、相互利用すると

ところでメリットが出る。他の自治体より先駆けて導入することで、子育て支援に向けた町の姿勢がアピールできるのでないか。

健康長寿課長 アプリについては、母子手帳交付の際に紹介はしている。担当と研究しようという段階で、実際に確認してみると、結構便利なものがあるがメーカーがいろいろあることから、保健師や栄養士等と使い勝手とか安全性とかを確認しようということをやっている。お母さん方の声も聞いていきたいと思っている。



駐車場だけの品井沼駅前





さくら い やすし
櫻 井 靖 議員

問 敬老祝金等支援事業は、 継続していけるのか

答 特別敬老祝金の金額を見直して、 財源を活用したい

問 松島町の高齢化率は、37%で非常に高い。医療技術の向上によって人生100年世代の到来が予想され、団塊の世代が後期高齢を迎える中、今後、本町の敬老祝金等支援事業は継続していけるのか。

健康長寿課長 この10年間で88歳の方は約2倍、99歳の方は約3・7倍に増加しており、5年後には対象者が1・6倍になり、事業費では、10年前、約340万円だった支給額が、今年度は740万円、5年後には1200万円という試算になっている。

近隣自治体でも見直しがかなり進んでいることから、来年4月以降、88歳の方に2万円、99歳の方は当面据え置きとしていきたい。

問 金額を下げることに ついては、皆さんに説明し、理解を得ることが必要と思うがどうか。

町長 5月に行政区長さんとの話し合いで、町の考え方を示させていた。6月から7月にかけて、各12行政区を回り、理解をしていただくように話をしていきたい。

また、浮いた財源については、高齢者や障害者の外出支援や大人用紙おむつの配布、特定妊婦治療の助成などに間口を広げていきたい。

問 敬老会のあり方、対象者の年齢、記念品の有無などについては今後どのようにしていくのか。

町長 当面は町の今のやり方をお祝い行事として継続していきたい。

健康長寿課長 記念品に係る経費を縮小し、お祝い行事としてイベントを充実させていく方針である。



問

子どもたちの交通安全に
対する意識向上を



答

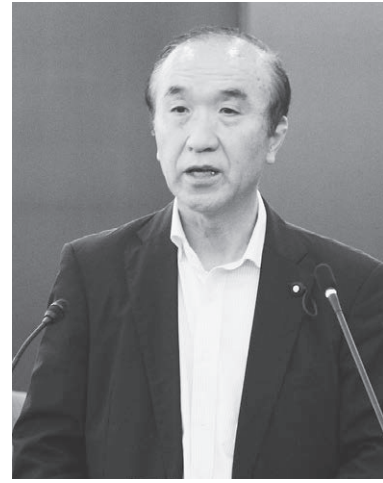
ルール違反がないか常に
声かけをしていく

問 子供たちの交通安全に対する指導はどのように行っているのか。特に自転車の乗り方、ルール、体に合った自転車の選び方などの指導はどのようになっているのか。

教育次長 中学生の自転車の事故は全国的に非常に多い。新入生の説明会あるいは生徒の生活の規約で、自転車の乗り方について約束に反した場合、自転車通学の許可を取り消すと明記をしてある。ルール違反がないか常に声かけをしていく。

問 喉頭摘出者に支援を

答 前向きに検討していきたい



ごとう よしろう 議員
後藤良郎

一般質問

問 喉頭がんや咽頭がん等により喉頭を摘出した方は音声機能の障害を負い、そしてコミュニケーション能力の著しい低下に陥り、日常生活に大きな支障を来している。これまで代用音声の研究される中で、最近注目されているのがシャント発声法がある。本町の喉頭摘出者数を把握しているか。

町民福祉課長 6名である。その内3名の方に人工電動式を日常生活用具として給付している。

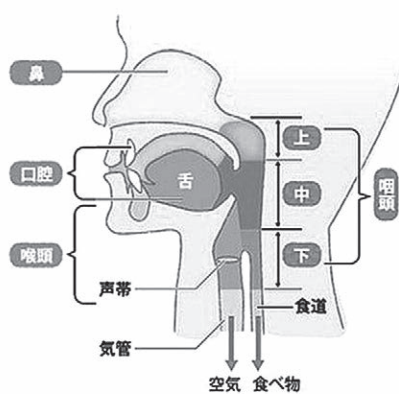
問 シャントの手術は保険が適用され、3割負担で10数万円程度、そして高額療養費制度を使うことでさらに安くなる。

問 問題は、そのシャントそのものの交換が3カ月に1回程度必ず必要になることや、定期的に人工鼻や気管孔周囲に張るベースプレータなどの器具の交換に費用がかかることである。この器具は保険適用外で、使用頻度にもよるが、毎月2〜3万円かかる。この件を踏まえ、どのように考えるのか。

町長 国は日常生活用具の給付要件として、日常生活上の困難を改善し、自立支援・社会生活を促進するものというふうに定めている。このようなことから、がん治療など喉頭摘出した方が使う、埋め込み型人工鼻は声帯を失った方が意思疎通を図るための有効な支援用具と考えている。



鼻・口腔・のど(喉頭と咽頭)



声を失ったら...

- ① 食道発声 (食道を振動させる)
- ② 電動式人工咽頭発声 (機器を首にあてる)
- ③ シャント発声 (シャント手術を行い、気管孔に器具を装着する)

問 毎月かかるガーゼや器具交換等の費用補助は全国で150の自治体で導入している。県内では、仙台、石巻、女川ほか5の自治体で補助が行われ、塩釜でも本年4月から行っている。

町長 これまで声を失った方々との会話から、声が出ないつらさは理解できる。また昨年、利府高校女子ソフトボール部で声を失った監督ということで注目もされた。そういうことも踏まえ前向きに検討していきたい。



たか はし ゆき ひこ
高橋 幸彦 議員

問 松島海岸駅の改修内容は

答 海側に上りホームを新設し、エレベーターを2基設置する

問 5月31日付の河北新報に「松島海岸駅改修着手へ、JR東日本年度内設計」という記事があった。それによると、JR東日本仙台支社が松島海岸駅をバリアフリー化するなどの改修するもので、本年度中に設計をまとめ、来年度以降に着工する。その設計費1億2千万円のうち、JR東日本と国が4千万円ずつ拠出し、残りを県と町が負担するというものでした。3月議会の総括質疑でも質問したが、より詳しい改修工程を聞きたい。

町長 松島海岸駅の改修については、これまで再三再四、各議員から質問を受けている。昨年6月8日に県・町・JR東日本の3者で、松島周辺の観光拠点整備推進に関

する包括連携協定を締結し、駅のバリアフリー実現に取り組んできた。その結果、3月30日に国交省の鉄道駅総合改善事業費補助による松島海岸駅整備実施設計に対する補助が内示され、4月27日に交付決定された。

町としても、国・県とともにJR東日本に補助を行い、30年度は実施設計、31年度以降は駅舎の改修工事に入れるよう取り組んでいく。

企画調整課長 松島海岸駅バリアフリー化設備整備費用は、本来は国・JR東日本・地元自治体で3分の1ずつ負担するものであるが、地元負担分の2分の1を県が補助するので町の負担は6分の1となる。全体事業費は約18億円を見込んでお

り、町の負担は約3億円と見込んでいる。

工事計画は、現在の駅舎を解体し、海側に上りホームを増設する。現在のホームは下り専用のホームとなり、両ホームにエレベーターを設置する。

今後のスケジュールは、今年度は実施設計、31年度以降は仮駅舎の設置、現在の駅舎の解体工事、新駅舎の工事、新駅舎の供用開始後、仮駅舎の撤去となる予定である。

2020年までにエレベーター等の一部供用開始を、JR東日本に働きかけていく。



松島海岸駅



あきら 今野 議員

問 子どもの貧困対策について

答 貧困線以下の世帯は10.1%

問 昨年、町は子どもの貧困実態調査を実施したが、その結果は。

町民福祉課長 調査は、0歳～15歳の子を持つ保護者600人と10歳～15歳の子ども300人を対象に実施した。回収率は52%で、相対的貧困率の基準となる貧困線以下の世帯は10.1%である。

問 調査結果からは、貧困世帯の子ほど食事がとれず孤食の割合が高く、勉強時間も短く大学進学も諦める傾向があり、自己肯定感も低いこと。保護者は健康状態が悪く、孤立の傾向が読み取れる。格差で教育の機会均等が失われないようにする必要がある。就学援助の実態はどうか。

一般質問

教育長 要保護は小学校8名、中学校2名。準要保護は小学校66名、中学校34名で、受給率は12.6%である。

問 就学援助の新入学児童生徒学用品費の事前支給を求めているが、なぜ実施できないのか。

教育次長 転出転入の事務処理、認定要件、要綱など検討が必要だった。現在、来年度入学の対象児童・生徒への事前支給に向け準備をしている。



問 国は援助費としてPTA会費や生徒会費、クラブ活動費なども支給を認めている。拡大する考えは。

教育長 国は平成21年度から補助対象としたが、今、支給対象とする考えはない。

問 町の就学援助の資格要件は、生活保護・住民税非課税などだが、生活保護費の1.5倍程度にする考えはないか。

教育次長 県内では65.7%が生活保護基準に一定の計数を掛けている。財政状況も鑑みながら検討したい。

問 町の高齢化率は37%で、県内35市町村中6番目。この10年間で年平均140人の人口減少である。出生数は年70人前後であり、若者の定住など、対策を総合的に検討・計画するプロジェクトチームを立ち上げる考えはないか。

答

総合的対策を検討する

問

高齢化率37% 「若者の定住」対策は



町長 重要な課題と認識し、転入者を対象に定住補助金等を交付しているが、さらに総合的な対策について検討したい。その中でプロジェクトチームの立ち上げの必要性についても検討したい。



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 災害への備えは万全か

答 訓練を通じ、自助・共助の重要性をアピール

防災対策の周知は

問 災害想定に対する町長の危機管理認識は。

町長 町民の生命・財産を一番先に守ることが我々の宿命だと思っている。

問 住民、事業所等に対する初動対応の手順確認、行政区への確認は徹底されているのか。

副町長 有事における確実な情報の伝達と、その手段、手順の確認は大変重要であると認識している。

危機管理監

具体には、

ホームページやSNSを活用した情報の発信と合わせ、消防団による巡回広報、自主防災組織への情報伝達を行い、町の防災訓練でも、情報発信体制の訓練を行っている。また、防災マップを活用した訓練にも手段、手順の確認項目を入れ、住民や事業所に周知徹底を図っていく。

問 町は、人命・財産の被害を最小限にする為、町民にどのようにアピールしているのか。

危機管理監 松島町防災の日を定める条例では住民の責務として、防災活動への積極的な参加と知識の習得に努めること、町の責務としては、住民の防災活動に対する支援に努めることが謳われており、各地区の自主防災組織訓練などで助言・指導を行い、自助・共助の重要性をアピールしている。

一般質問

問

防犯対策の充実を

答

情報提供し、参画しやすい体制に

防犯対策の現状は

問 防犯指導隊の活動に対する町の関わりは、どのようにされているのか。

巡回をお願いするが、不審者等が出現した場合は、町が中心となり町民等への周知や関係機関への協力要請、パトロール強化などを行っている。

問 学校側の安全対策は、どのように取組まれているのか。

教育長 青少年健全育成町民会議では、家庭教育・学校教育の緊密な連携のもと、子ども110番（平成30年4月1日237カ所）を設置している。また、松島高校の生徒によるJR高城町駅構内でのマナーアップキャンペーンなどを実施している。

総務課長 松島海岸、磯崎、手樽、北部、初原の防犯指導隊と高城区の6団体には、通常時の地域



油断大敵・早めの行動を!

松島町小・中学校
子ども110番の家

宮城県塩釜警察署
松島町・松島町教育委員会
松島町PTA連合会
青少年健全育成松島町民会議

こども110番の家

問 松島町バリアフリー基本構想と、松島海岸駅整備事業について

答 インフォメーションコーナーの運営は今後検討する



いろ かわ はる お
色 川 晴 夫 議員

問 昨年6月、町長より「JR松島海岸駅バリアフリー化について、松島町・県・JR東日本の三者で包括連携協定を締結した」と報告された。その後、松島町バリアフリー基本構想策定について、町の長総・観光振興計画・障害者計画に基づき策定し、松島地区をはじめに考えると説明があった。これは県において、仙台市に次ぎ2番目と大変注目の事業である。そこで、バリアフリー化を進めるにあたり、民間事業含め最力を入れたのは。

町長 松島海岸駅の整備について、町は独自のバリアフリー基本構想をつくり、国より補助採択をしやすいすることである。



整備された国道45号

一般質問

問 民間事業での補助は。
企画調整課長 町事業や道路整備に対する補助の優位性があるが、民間事業での補助は無い。

問 松島海岸駅の完成は。
町長 オリンピックまでにエレベーターの使用が町の望みだが、ハードルが高い。31年より工事着手し33年完成の予定。

問 駅舎にインフォメーションコーナーを設けるとしているが、運営主体はどこなのか。
町長 インフォメーションコーナーについては、JRにお願している。面積などは今後JRと詰めていく。また、運営は観光協会や6市3町でのDMO、それ以外も考えられるが、町運営は考えていない。

答

活用に向け検討する

問

再度問う 地域おこし協力隊の導入を検討したか

問 全国で協力隊の導入例は年々増加している。これをどう見ているのか。
町長 国の施策が松島町に合致するかを考え、それをうまく使うことが大切である。今後、行政懇談会の中で話をし投げかけて見たい。つき質問受けるときは、もっと発展的な答弁をしてみたい。

問 昨年3月議会で「地域おこし協力隊の誘致を」で質問した。町長は、「松島町の一次産業は大変厳しく、特に漁業の力キについて関係者と話し合う」また「今後、導入自治体を参考に希望者のニーズと松島の実情に合わせ、活用を検討していきたい」と答弁したが、その結果と関係者との協議は。
企画調整課長 県内で19自治体が導入し農業、漁業、林業が多く、松島はこれに観光業の導入が考えられる。関係者と協議では、人材確保、担い手育成の取り組みがあれば活用したいとの事。しかし、年を通しての仕事や、担い手育成後の経費、観光業での採用時期などは検討課題である。

平成29年度 政務活動費収支報告

一人あたり月額7,000円 余剰金は町に返還

平成29年4月1日～12月14日分

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交付額	支 出	残額(返還額)
新生クラブ	高橋幸彦	高橋幸彦 阿部幸夫	177,483円	168,042円	9,441円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月×3名 12月 7,000円×(14日/31日)×3名	研修費 149,994円 資料購入費 18,048円	
日本共産党	今野章	今野章	59,161円	61,505円	△ 2,344円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月×1名 12月 7,000円×(14日/31日)×1名	研修費 42,455円 資料購入費 12,690円 事務費 6,360円	
公明党	後藤良郎	後藤良郎	59,161円	56,194円	2,967円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月×1名 12月 7,000円×(14日/31日)×1名	調査研究費 56,194円	
町民クラブ	太齋雅一	太齋雅一 川崎晴夫	118,322円	116,641円	1,681円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月×2名 12月 7,000円×(14日/31日)×2名	研修費 104,609円 資料購入費 12,032円	
松政クラブ	高橋利典	高橋利典 櫻井山正弘	177,483円	174,962円	2,521円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月×3名 12月 7,000円×(14日/31日)×3名	研修費 156,914円 資料購入費 18,048円	
政務活動費(会派分)小計			591,610円	支出額 577,344円 交付額分 575,000円	16,610円
赤間幸夫			59,161円	18,976円	40,185円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月 12月 7,000円×(14日/31日)	資料購入費 18,976円	
小幡公雄			59,161円	6,016円	53,145円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月 12月 7,000円×(14日/31日)	資料購入費 6,016円	
菅野良雄			59,161円	49,036円	10,125円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月 12月 7,000円×(14日/31日)	資料作成費 36,000円 資料購入費 13,036円	
政務活動費(議員分)小計			177,483円	支出額 74,028円 交付額分 74,028円	103,455円
合 計			769,093円	支出額 651,372円 交付額分 649,028円	120,065円

※日本共産党の残額(返還額)については、交付額よりも支出額が多いため交付額により算出

平成29年12月15日～平成30年3月31日分

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交付額	支 出	残額(返還額)
松政クラブ	高橋利典	高橋利典 櫻井山正弘	74,517円	29,906円	44,611円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月×3名 12月 7,000円×(17日/31日)×3名	研修費 20,882円 資料購入費 9,024円	
新生クラブ	高橋幸彦	高橋幸彦 澁谷秀夫	49,678円	6,016円	43,662円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月×2名 12月 7,000円×(17日/31日)×2名	資料購入費 6,017円	
日本共産党	今野章	今野章	24,839円	7,040円	17,799円
			4月～11月 7,000円×8ヶ月×1名 12月 7,000円×(14日/31日)×1名	資料購入費 6,108円 事務費 932円	
政務活動費(会派分)小計			149,034円	支出額 42,962円 交付額分 42,962円	106,072円
赤間幸夫			24,839円	12,382円	12,457円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月 12月 7,000円×(17日/31日)	資料購入費 7,544円 事務費 4,838円	
阿部幸夫			24,839円	3,008円	21,831円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月 12月 7,000円×(17日/31日)	資料購入費 3,008円	
菅野良雄			24,839円	6,016円	15,207円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月 12月 7,000円×(17日/31日)	資料購入費 9,632円	
杉原崇			24,839円	11,108円	13,731円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月 12月 7,000円×(17日/31日)	資料購入費 11,108円	
緑山市朗			24,839円	37,800円	△ 12,961円
			1月～3月 7,000円×3ヶ月 12月 7,000円×(17日/31日)	広報費 37,800円	
政務活動費(議員分)小計			124,195円	支出額 73,930円 交付額分 60,969円	103,455円
合 計			273,229円	支出額 116,892円 交付額分 103,931円	169,298円

※緑山市朗議員の残額(返還額)については、交付額よりも支出額が多いため交付額により算出

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

平成30年3月26日、平成30年第1回塩釜地区消防議会定例会が開催された。行政報告として、平成29年の火災件数は37件（前年比8件減少）、この中で松島町は6件で3件増加している。緊急出動件数は8987件で前年比219件2・5%増で松島町は1013件で46件の増となっている。

要介護認定審査状況は、審査判定数6751件、審査会開催日数は184日で226回の開催数となっている。松島町分は988件であり、障害支援区分に係る審査判定状況は189件で松島町分は6件、開催日数は22回となっている。

塩釜地区環境センター業務実績の中で、し尿及び浄化槽汚泥搬入実績は、し尿5951tで前年比314t減。浄化槽汚泥は2756tで前年比8t増。乾燥汚泥発生量は、140tでリサイクル率100%で放射性セシウム濃度は検出されておらず、基準200dq/kgとなっている。

塩釜斎場利用実績は、2112件で区域内1721件、区域外391件松



片山正弘議員
後藤良郎議員

島町分は193件で36件増となっている。平成29年2月～30年2月末の使用料は合計、3637万5千円となっている。

付議事件としては、平成29年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算歳入歳出総額21億2143万9千円であり、環境事業特別会計補正予算、5億8715万3千円、一般会計補正予算395万円の減額補正・財産取得2件（火葬場建設事業用地）その他原案通り可決された。平成30年度介護認定審査事業特別会計予算1億3915万6千円、障害者支援区分審査事業特別会計予算483万4千円、平成30年度環境事業特別会計歳入歳出総額 3億9375万2千円となっている。

宮城東部衛生処理組合議会

平成30年第1回宮城東部衛生処理組合議会定例会が3月29日（木）に開催された。

行政報告として、平成30年2月末現在のごみ搬入状況等及び各施設の運転状況について管理者より説明があり、次に定期的に測定しているダイオキシン類濃度測定結果及び放射性物質濃度の測定結果等について、不検出または基準値以内であり、施設等は良好に稼働している旨の報告があった。

また、塩釜市の可燃ごみを2月13日から3月8日までの21日間で、約605トンを受入れ焼却処理したことが報告された。

付議事件については、平成29年度宮城東部衛生処理組合計補正予算及び平成30年度組合計予算について審議され原案通り可決された。平成29年度補正予算については歳入歳出の総額にそれぞれ1636万6千円を追加し歳入歳出の総額を9億3229万9千円とした。

平成30年度当初予算総額は8億4200万円の前年度比5700万円、6・3%減となっている。歳入の主たるものは、構成市町村の負担金総額は8億1382万円、歳入全体の96・6%を占め、次に物品売払収入など財産収入で1235万8千円、1・5%、一

今野章議員
櫻井靖議員

般廃棄物処理施設整備基金繰入金が166万4千円、1・4%となっている。歳出については、義務的経費が1億4790万4千円で全体の17・6%となり、その内訳は、人件費で1億4780万5千円、公債費の9万9千円は一時借入金利子となっている。物件費は4億3233万円で歳出全体の51・3%になっている。内訳は、ダイオキシン対策費で1048万3千円、放射性物質対策費は154万3千円、容器包装等リサイクル対策費は1億1239万8千円。その他維持管理・運転管理に要する物件費は、3億790万6千円、維持補修費は、1億6054万9千円、補助費等その他の経費として542万6千円、積立金は歳出全体の9・1%で7634万8千円を計上した。松島町のごみ処理費負担金及び投資的経費の負担金の合計は、1億1258万598円で負担割合は13・83%になる。

松島町の教育・保育関連施設の状況は

教育民生常任委員会所管事務調査報告

◎調査の内容

松島町の子育て支援対策は「松島町長期総合計画」の重点戦略の一つである。その子育て支援対策における「児童福祉」においては、安心して子育てできる環境の整備が求められ、「学校教育」においては、自然や歴史を学び、豊かさを育むことができない教育環境の充実が求められている。

◎調査結果

各施設毎で修繕すべき箇所や改善が求められる点が多々見受けられたが、施設共通としては次のような事があげられる。

- 1、サビ等により腐食箇所のある遊具類が散見された。
- 2、エアコンの整備が不十分である。
- 3、防犯カメラが設置されていない。
- 4、トイレの洋式化が遅れている。
- 5、職員トイレに疑似音装置がない。
- 6、小学校と幼稚園に直通する連絡手段がない。

◎まとめ

今回の教育・保育施設の現地視察を踏まえ、速やかな修繕が求められる箇所や見直しが必要と認められる点等について、協議を行い、町当局に対し、次の通り提案した。

①予算について

各施設とも消耗品費が削減されて現場は対応に苦慮している。必要な予算措置が講じられるよう望む。

②危機管理について

危機管理については、各施設とも真剣に考えており、防火、防災訓練については、年内を通して実施している。更なる危機管理意識の向上を図るため、なお一層の内容の充実を望む。

防犯については、各施設とも防犯カメラが設置されておらず早急な設置が望まれる。

③修繕箇所等について

松一小 バックネットに腐食、撤去し新設することを望む。家庭科室の椅子が破損、更新を望む。学校給食用ダムウォーターについては、段差があり危険。

松一小 外壁に剥離が見られるので、屋根の排水対策と合わせ修繕することを望む。

施設共通 小学校と幼稚園を繋ぐ通信設備がなく、災害時を想定し、電話以外で直接連絡を取り合える通信設備の設置を望む。体育館の放送設備及び水銀灯に不備があり、定期的な点検が必要である。



教育民生常任委員会教育施設調査

議会活動

◆主な活動内容

- ・ 3月10日 第71回松島中学校卒業証書授与式
- ・ 3月15日 平成29年度町内各幼稚園卒園式
- ・ 3月16日 平成29年度町内各小学校卒業式
- ・ 3月17日 平成29年度町内各保育所修了式
- ・ 3月30日 桜渡戸分館落成式典
- ・ 4月10日 平成30年度町内各幼稚園入園式
- ・ 4月23日 町内各小学校入学式・松島中学校入学式
- ・ 4月23日 宮城黒川地方町村長・議長懇話会
- ・ 5月19日・20日 平成30年度町内各小学校運動会
- ・ 5月24日 平成30年度全国町村議会議長会議
- ・ 5月30日 議長・副議長研修会
- ・ 5月30日 全国町村議長会都道府県会長視察来町
- ・ 6月10日 第58回町民ふれあいスポーツ大会

また、各常任委員会、議会運営委員会が開催された。



町民ふれあいスポーツ大会

町民の声



あまのひろふみ
天野宏典さん
(松島)

「水主町の今昔」

私の住む松島海岸地区の水主町（かこまち）は、瑞巖寺造営のための木材を運んで来た人々が定住し、400年以上の歴史を経て今日に至っています。

私の幼い頃は、車も少なく茅葺きの家が並び、道も砂利道でしたが、高度経済成長期を経て水主町の町並みも徐々に姿を変え、今は新しく大きく変貌しました。

東日本大震災の復興工事が進みつつある今から2年半前に、私の敷地内に「ギヤラリー兼アトリエ禅」という店をオープン

させることが出来ました。そして、それを機に近隣に新しく4・5軒の店も出来ました。

毎日松島の島々を眺めながら、松島の風景を描いて、少しでも松島の良さとお客様に伝えることが出来ればと思っています。

自然遺産である松島が、行政の力により、日本で一番住み易く住んでみたい町になればと思います。



視察来町

- ① 4月26日
栃木県那須町議会議会広報特別委員会
議会広報の作成・編集方法等について
- ② 5月7日
大分県九重町議会議会運営委員会
議会運営について
東日本大震災における議会の対応について
- ③ 5月15日
山形県河北町議会議会運営委員会
議会運営について
議会改革の取り組みについて
- ④ 5月21日
広島県廿日市市議会建設常任委員会
震災復興計画～都市基盤の復興～について

表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島中学校美術部部長 相澤 菜里
私たち松島中学校美術部は、コンクールや、地域の方からの依頼を中心に、日々、作品づくりに励んでいます。

昨年からの地域の方々と関わる機会が増え、校外のイベントなどで展示していた作品も増えてきました。表紙の作品もその一つです。これは、「松島パークフェスティバル」の募金箱として使用されました。先輩、後輩関係なく、皆が積極的にアイデアを出し合い、とても素敵なものができたと思います。

現在も、次のイベントへ向けて、大漁旗を制作中です。個人制作と依頼された作品との画立は、大変な時もあります。また、初めての画材や大きさなどで、試行錯誤しながらの制作もあります。ですが、一つのものを作り上げた後の達成感や、皆で協力することで生まれる団結力を味わうことができます。何より、地域の皆さんに貢献できていることがとても嬉しいので、これからも一生懸命に取り組んでいきたいです。

次回9月の定例会は

9月7日

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

一般に自治体の在りようは複雑多岐であり、人口のさほど多くない本町においても同様である。

特に東日本大震災以降、行政内容と財務状況の異常な事態が続いている。それも漸くあと数年で終熄する見通しにはなってきたが、平時に戻れば戻ったで、懸案の諸問題の解決に愈々迫られることになる。議会もそれに相応して十分に機能を果たしてゆかなければならない。

最近の「議会だより」は、私が編集に携わった4年前と比べて、前任者の創意工夫で、より見易く、特に昨年からはいよいよ美しくなったと感じているが、今後も議会の論議の模様を正確にかつ解り易く町民の皆様にお伝えできるよう担当者全員で努力していかなければならない。

(緑山市朗)

広報広聴常任委員会 広報分科会

会長	櫻井	靖
委員	杉原	崇
委員	緑山	市朗
委員	澁谷	秀夫
委員	太齋	雅一
委員	後藤	良郎
委員	色川	晴夫